

ホームページ <http://sawashima.com/>

渋谷区議会議員 沢島ひでたか

第4回定例会号

渋谷区議会区政報告



沢島

ひでたか通信 Vol.44

ハチパイでお米購入→50%ポイント還元(上限2000ポイント)キャンペーン、1/30まで実施中！

**全小学校での朝預かりが明年4月からスタート！
公明党の要望で民泊が条例改正へ！**

第4回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和7年11月27日(趣意)

まちづくり

擁壁の補修・補強工事助成について

質問 新宿区では2、3助成、最高1500万円、土砂災害警戒区域では最高3500万円の助成を実施しています。また、擁壁コンサルタント無料調査派遣も行っています。

渋谷区は起伏の多いまちで、擁壁や崖が多くあります。擁壁の調査派遣、強化・補修工事の助成制度の創設について区長のご所見を伺います。

答弁 (区長)区内の個人宅地を形成する擁壁は数千にも上ります。本区としても、危険性のある既存擁壁の補修・補強工事にかかる助成制度の創設に向けて、まずは危険性のある擁壁の現状を把握し、助成対象要件などを前向きに検討してまいります。

VR動画の活用について

質問 3Dを駆使したまちづくり支援を目的とした「サイバードーム」を見学して参りました。これは、実物大の空間にあらゆ

る視点で仮装立体空間を体験できるもので、まちづくりや施設整備、再整備の計画段階、案に対する意見集約、整備に向けたワークショップに有効と感じました。

計画される整備プロジェクトについて、VR動画を作成し周知、また意見集約のツール、広報などに活用していたきたいと思います。

答弁 (区長)今後は渋谷駅周辺の再開発に限らず、その他の地域でも、VR動画の活用を検討してまいります。

例えば、現在進めている、JRを跨ぐ猿楽橋の架け替え事業新しい橋の色彩や照明計画などの検討を予定しており、これらは街の景観の重要な要素となることから、VR動画の活用も考えているところです。



まちづくり3Dシュミレーション
(横須賀市ホームページより)

子育て・教育

学校での朝預かりについて

質問 第3回定例会で学校での朝預かりの進捗を伺い、明年4月、朝7時半から「全校」で開始を検討、運営主体は継続と安定性を考慮し検討する。とのご答弁いただきました。

そこで、調査結果の詳細と、運営主体など具体的なことが決まっている様でしたらお聞かせください。

答弁 (教育長)令和6年第4回定例会で貴会派からご提案いただき、教育委員会では、ニーズ把握のために、放課後クラブや区立保育園の保護者を対象にアンケートを実施しました。

アンケートでは、就労などを理由に、約5割の保護者が朝の見守り事業を利用したいと回答しており、時間は7時半からの希望が多いこと、平日のほか長期休業期間の利用ニーズも高いこと、高学年でも利用したいというニーズがあることが分かりました。

これらを踏まえ、来年4月から全小学校において、平日・土曜・長期休業期間の7時半から体育館などを開放し、全学年を対象に朝の見守り事業を実施する方向で準備を進めています。

見守り体制については、平日と土曜日はシルバー人材センター

の会員を複数人配置して対応し、長期休業期間中は放課後クラブ運営事業者が対応する予定です。

また、希望する児童には、運動や文化系プログラムを提供し、楽しみながら充実した時間を過ごすことができるようにも調整しています。



産後ケアのデイサービスについて

質問 本年4月から産後ケアのデイサービスが始まり、区内では日赤医療センターのみでしたが、先週、西原にママと子どものケアルーム「はるの星助産院」が開設されました。

まだ開設一週間ですが、広報も含め、状況等お聞かせください。

答弁 (区長)今回、区内初の1歳未満までの子とその母を対象とした施設が出来ましたので、子どもの健康チェックや発育の確認、母親の体調管理や療養の確保などが本区内で可能となりました。

開設してまだ日が浅く、安定運営のため週2回程度の運営と聞いていますが、年明けからは本格的に運営されるそうです。

小規模の産後ケア施設は経営が厳しく、廃業する施設も多いので、継続的に運営できるよう、区としても支援してまいります。

福祉

障害者福祉について

質問

お子様が重度の心身障害をお持ちで、「渋谷区重心GHをつくる会」というグループの方からの要望書を拝見しました。（重心GHとは重症心身障害者のグループホームの略）内容は「障害者福祉計画に「重心GH」設置を明記、また調査費等を計上して欲しい」「区内に場所を探して欲しい」です。

「重心GH」設置について、区長のご所見を伺います。

答弁

（区長）「誰もが自分らしく暮らせるまち」を障がい福祉施策の基本理念に掲げる本区としては、避けて通れない重要な課題だと認識しています。

来年度に策定する次期「渋谷区障がい福祉推進計画」に取り組みや目標を明確に位置付け、他の障がい種別で喫緊に必要な施設との調整を図りながら、当事者や保護者の皆様と共に、りばあさいど原宿に続く住まいの場の実現を目指してまいります。

介護・障害福祉従事者の人材確保について

質問

現在、介護職員及び障害福祉従事者への賃上げにつながる支援は、国の処遇改善加算のほか、都が独自に介護および障害サービス事業所の職員を対象に、月額1万円の手当を補助し、さら

に5年目までの経験の浅い介護職員等には1万円を上乗せして加算しています。

ただ、これでは人材確保と処遇改善とは言えない状況です。

そこで、介護職員及び障害福祉従事者へ区独自の上乗せを提案します。

答弁

（区長）人材不足による福祉サービスの停滞を招くことがないよう、令和9年に予定されている国の報酬改定を待つことなく、区独自の支援を検討することになりました。

来年度から支援を開始できるようスピード感をもって取り組んでまいります。



民泊

民泊の条例改正について

質問

区民の声として、騒音やゴミ問題と、住環境が悪化したとの訴えを聞く機会が増えています。

そこで、今後、渋谷区の民泊への取り組み、課題を踏まえ条例改正も含めてお考えを伺います。

答弁

（区長）民泊については周辺の住民からは、騒音、ゴミのポイ捨て、喫煙などの多数の苦情が寄せられており、課題と認識して

いました。

区民の生活環境を守るため、住居専用地域・住居地域における新規の届け出については、「家主居住型」及び「届出者が近隣在住等」のみを認める方向で条例改正の準備を進めています。

民泊の事業者について

質問

民泊の事業者にも「ちゃんとしている民泊」と「ちゃんとしていない民泊」があります。

また後者にはそもそも届出をしていないモグリの「闇民泊」もあります。

オーナーや管理業者の「顔が見える民泊」にするためにも、現行の条例「営業7日前までの届出規制」を期間を月単位で伸ばし、その間近隣住民への周知の徹底、説明会、内覧会等を義務付けてはいかがかと思えます。

答弁

（区長）今回の条例改正に併せ、届出期間の延長、周知の徹底、説明会の開催等についても条例・規則等に対応できるように検討し、進めてまいります。

物価高対策

デジタルお米券について

質問

本年1月、我が会派から国の重点支援地方交付金を活用した、物価高騰対策の緊急要望を提出いたしました。

その折、お米券について言及さ

せて頂きました。すると区長は昨年からお米券の構想がある事を伺い、今となつては国より早い取り組みを高く評価いたします。

今回のハチペイを活用したデジタルお米券とも言ふべき「お米購入で最大50%ポイント還元キャンペーン」での区民支援について、反響は意外に大きいです。

私もデジタルを進めるなら、デジタル支援は車の両輪と訴えてきました。デジタルでのお得を提供するなら、デジタルデバイス解消はセットです。

ぜひ、このキャンペーンを機に、ハチペイを認証して利用しようとする方を支援するために、「区役所7階でサポートします」の一言をキャンペーンとセットで区ニュース、チラシに入れて頂きたいと思えます。

答弁

（区長）来月から実施するお米購入にかかるキャンペーンにつきましては、より多くの区民の方にご利用いただくためにも、議員ご提案の7階のハチペイサポートデスクも含めた区のサポート体制について、区ニュースやキャンペーンチラシなどで周知を行っていきたいと考えます。



渋谷区政へのご意見、ご要望など、なんでもお気軽にご相談ください!!

さわしま 英 隆
渋谷区議会議員 沢島 ひでたか

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室 TEL. 03-3463-1036
FAX. 03-5458-4962



寄せられたご相談に
全力で対応致します!!